

9 奨学金

立命館大学では、学生が安心して学生生活を送り、一人ひとりの学修・学生生活の目標にチャレンジできるよう、独自の奨学金制度を設けています。本学独自の奨学金は、経済的に困難な状況のなかでも学び成長したいと願う学生をサポートする「経済支援型奨学金」と、学修・留学・課外活動などの目標にチャレンジし、多様な活動に取組む学生をサポートする「成長支援型奨学金」があります。本学独自の奨学金のほか、日本学生支援機構、民間財団、地方公共団体など学外資金による奨学金も多数の学生が利用しています。各種奨学金の願書入手方法や出願方法、出願資格などの詳細は、本学奨学金制度WEBサイトにて随時更新します。

奨学金制度WEBサイト <https://www.ritsumei.ac.jp/scholarship/>



(1) “一般選抜受験前”に出願する奨学金

立命館大学 近畿圏外からの入学者を支援する奨学金（給付型）

遠方(近畿圏外)から本学への入学を強く志望する者に対して、本学への進学を支援することを目的とした奨学金です。本奨学金は、一般選抜の受験前に採用候補者を決定します。

1. 募集人数

約400名程度

2. 出願資格

- ①立命館大学への入学を強く志望し、2025年度一般選抜(共通テスト方式・共通テスト併用方式を含む)を受験する者。
- ②出願日(2025年12月2日)時点で、出願者および生計維持者*の住民票記載の住所地が京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県または和歌山県以外の都道県にある者。または、市区町村役場に「海外転出届」を提出し海外に居住している者。
- *生計維持者とは、出願者の「父」と「母」の両方です。ひとり親家庭や、父母の死去・疾病・身体障害等により学費等の負担が難しい場合は、その状況を示す公的書類を提出いただき生計維持者を判断します。

- ③2024年(2024年1月～2024年12月)の生計維持者の年間収入を合算した金額が以下であり、当該事実を証明する公的書類を提出できる者。

- ・給与、年金収入金額(課税前)の場合：900万円未満
- ・その他、事業所得金額の場合：414万円未満

3. 給付内容

①給付金額：

- 年額30万円……法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部
- 年額50万円……理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、映像学部、デザイン・アート学部

②給付期間：修業年限までの4年間(薬学部薬学科は6年間)

③給付方法：半期ごと(春学期と秋学期)に年間給付額の半額を本人名義の口座に振り込みます。

4. 併給

「日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免」とは併給できません。

5. 出願期間

2025年11月10日(月)9時～12月2日(火)17時【WEB申請】

6. 採用候補者選考・決定

本奨学金に出願し出願資格を満たす者のなかから、生計維持者の合計収入所得の低い方から順に採用します。

選考結果は、2025年12月25日(木)以降(予定)に出願者全員に郵送します。

7. 募集要項・願書入手方法

本学ホームページ → 「受験生の方」 → 「学部受験生の方～～学部受験生のための入試サイト～」 → 「学費・奨学金」 → 「奨学金」よりダウンロードしてください。

8. 質問・問い合わせ先

立命館大学学生オフィス(衣笠) 奨学金係

TEL：075-465-8494(直通)

土日祝日を除く 9：30～17：00

近藤裕彦理系人財支援奨学金（給付型）

本学への入学を強く希望する理系分野を志す地方出身の特に優れた学生に対して、経済的に支援することを目的とし、本学卒業生である近藤裕彦氏からの寄附を元に創設した奨学金です。

1. 採用人数

2名(若干名の補欠採用者を設定します)

2. 出願資格

- ①立命館大学への入学を強く希望し、2026年度一般選抜入学試験(共通テスト方式、共通テスト併用方式を含む)において、理工学部、情報理工学部、生命科学部、または薬学部を受験する者。

- ②出願締切日(2025年11月25日)時点で、出願者および生計維持者*の住民票記載の住所地が京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県または和歌山県(以下「近畿圏」という)以外の都道県にある者。または出願者および生計維持者が外国に居住している者(「海外転出届」を提出し外国に居住している者)。

*生計維持者とは、出願者の「父」と「母」の両方です。ひとり親家庭や、父母の死去・疾病・身体障害等により学費等の負担が難しい場合は、その状況を示す公的書類を提出いただき生計維持者を判断します。

③文部科学省による高等教育修学支援新制度における日本学生支援機構給付奨学金の「予約採用」申請者で、給付奨学金の支援区分が第Ⅰ区分、第Ⅱ区分または第Ⅲ区分となる見込み者であり、当該事実を証明する公的書類を提出できる者。

④在籍している高等学校長の推薦を受けた者。

⑤高等学校が作成した文科省所定様式の調査書を期日までに提出した者で、高等学校の第1学年から第3学年1学期終了時まで(2学期制の学校で、第3学年前期までの学習成績の状況を記載できない場合は第2学年終了時まで)の「全体の学習成績の状況」が、5段階評価で「4.0」以上の者。

3. 給付内容

①給付金額：年額50万円

②給付期間：修業年限までの4年間(薬学部薬学科は6年間)

③給付方法：春学期と秋学期の授業料納付時に授業料に充当する方法で給付

4. 併給
「大学等における修学の支援に関する法律にもとづく給付型奨学金または授業料等減免(立命館大学学費減免)」と併給することが前提です。
5. 出願期間
2025年11月10日(月)9:00～11月25日(火)17:00
6. 採用候補者選考・決定
選考は、本奨学金に出願し出願資格を満たす者の中から、提出された出願書類の内容について総合的に判断し、採用者を決定します。

(2) “入学前”に出願する奨学金

立命館大学 家計急変学費減免（給付型）

入学前に家計急変や自然災害等による経済的な理由により、修学が困難となった者に対して支援する奨学金です。

1. 採用人数
出願資格を満たす者は全員採用*
※国の「高等教育の修学支援新制度」の家計急変による授業料減免制度を包括した制度であり、原則、日本学生支援機構給付奨学金の家計急変に出願を要する。
2. 出願資格
本学への入学の意思が明確でありながら2025年1月以降に受験生の生計維持者*の死亡・重度後遺障害・自然災害による居住家屋の被災(半壊以上等)および生計維持者の30日以上の入院・加療により、入学にあたって経済的に困難な状況にある者。
※生計維持者とは、出願者の「父」と「母」の両方です。ひとり親家庭や、父母の死去・疾病・身体障害等により学費等の負担が難しい場合は、その状況を示す公的書類を提出いただき生計維持者を判断します。
3. 減免内容
①減免金額：年間授業料の1/4の額
②減免期間：入学年度1回のみ
③減免方法：4月入学予定者は入学初年度の春学期
9月入学予定者は入学初年度の秋学期
4. 募集時期
4月入学予定者：2026年2月・4月締切
9月入学予定者：2026年10月締切
詳細は73ページの「奨学金制度WEBサイト」で確認してください。
5. 募集要項・願書入手方法
73ページの「奨学金制度WEBサイト」よりダウンロードしてください。
6. その他
本奨学金に採用された場合も、所定の期限までに入学金と諸会費を納入していただく必要があります。
7. 問い合わせ先
立命館大学学生オフィス(衣笠) 奨学金係
TEL: 075-465-8168(直通)
土日祝日を除く 9:30～17:00

民間奨学財団奨学金【学校推薦群】(給付型)

民間奨学財団が募集する奨学金のうち、大学による一括募集・選考(書類・面接)を経て推薦する財団を【学校推薦群】としています。詳細は73ページの「奨学金制度WEBサイト」にて確認してください。

*ここで紹介する【学校推薦群】以外に、一括募集ではなく各自で出願ができる【一般公募群(給付型、貸与型)】の奨学金もあります。また、地方公共団体の奨学金(貸与型中心)もあります。

1. 募集人数
若干名
2. 出願資格
立命館大学を代表する奨学生として相応しい者(学業成績優秀、品行方正)でありながら経済的理由で修学が困難な者。
採用後、各財団が求める交流会、研修会等に参加できる者(家計基準、成績基準あり)。
3. 給付内容
各財団により異なる(月額2万円～6万円程度)。
4. 出願締切日
2026年3月中旬
5. 募集要項・願書入手方法(12月下旬公開予定)
73ページの「奨学金制度WEBサイト」よりダウンロードしてください。
6. 問い合わせ先
立命館大学学生オフィス(衣笠) 奨学金係
TEL: 075-465-8168(直通)
土日祝日を除く 9:30～17:00

(3) “入学直後”に出願する奨学金(出願締切：2026年4月上旬)

「日本学生支援機構給付奨学金および立命館大学学費減免(多子世帯の授業料等無償化支援を含む)」と「日本学生支援機構貸与奨学金」の募集を入学直後に行います。出願するためには、入学前に募集要項の請求が必要です。詳細は、本学ホームページ内の「学生生活ガイド」から「奨学金・学生生活の手引き」を確認してください。

名称	種別	奨学金の内容	出願資格等
	給付型	<p>■日本学生支援機構 納付奨学金 <給付金額(年額)> 第Ⅰ区分 自宅外 約91万円・自宅 約46万円 第Ⅱ区分 自宅外 約61万円・自宅 約31万円 第Ⅲ区分 自宅外 約31万円・自宅 約16万円 第Ⅳ区分(多子世帯に限る) 自宅外 約23万円・自宅 約12万円 <給付期間> 修業年限まで ※毎年家計・学業審査あり</p>	<p>〈家計基準〉 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ～第Ⅳ区分(第Ⅳ区分は多子世帯のみ)と日本学生支援機構が認定 ※家計基準による区分の認定の詳細は、日本学生支援機構WEBサイトで確認のこと 学業基準、その他基準も別途あり</p>
日本学生支援機構 給付奨学金 および 立命館大学 学費減免 多子世帯の 授業料等無償化 支援を含む	給付型 (学費減免)	<p>■立命館大学学費減免(国の授業料等減免制度に本学の支援をあわせた制度) <給付金額(年額)> 第Ⅰ区分 70万円または授業料1/2の金額の大きい方を採用 第Ⅱ区分 約46万円または授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅲ区分 約23万円または授業料1/4の金額の大きい方を採用 第Ⅳ区分(理工農系学部) 本学独自の家計基準により、約23万円または授業料1/4の金額を採用 多子世帯 70万円 大学独自区分 授業料1/4の金額 ※第Ⅰ区分の多子世帯は70万円または授業料1/2の金額の大きい方を採用 ※入学金は、第Ⅰ区分20万円、第Ⅱ区分約14万円、第Ⅲ区分約7万円、第Ⅳ区分(理工農)約7万円を減免 <給付期間> 修業年限まで ※毎年家計・学業審査あり</p>	<p>〈家計基準〉 非課税世帯を第Ⅰ区分、それに準ずる世帯を第Ⅱ～第Ⅳ区分(第Ⅳ区分は理工農系学部のみ)とし、日本学生支援機構が認定 第Ⅰ～Ⅲ区分に該当せず、年間給与収入400万円以下、その他所得57万円以下の世帯(父母合算)を大学独自区分として認定 第Ⅳ区分は本学独自の家計基準以下の場合は本学独自区分、基準を超える場合は国の減免額が適用 学業基準、その他基準も別途あり ※多子世帯は所得制限なし</p>
日本学生支援機構 貸与奨学金	貸与型	<p><貸与額(月額)> *以下より選択 ①第一種(無利子) 自宅生: 2万円、3万円、4万円、5.4万円 自宅外生: 2万円、3万円、4万円、5万円、 5.4万円、6.4万円 *各通学区分の最高月額は別途家計基準を満たす必要あり ②第二種(有利子、上限3%、在学中は無利子) 2万円～12万円(1万円単位、薬学部のみ14万円も選択可) <貸与期間> 原則として修業年限の終期まで ※毎年家計・学業審査あり</p>	<p>〈学力基準〉 ①第一種: 高等学校等の評定平均値が3.5以上 *住民税非課税世帯の場合は高等教育の修学支援制度の基準に準じる ②第二種: 本学入学をもって基準を満たしているとみなす 〈家計基準〉 詳細は日本学生支援機構WEBサイトで確認のこと</p>

*日本学生支援機構給付奨学金および貸与奨学金は、高等学校在学中に予約採用としての出願が可能です。入学後に奨学金の活用を検討される方は、予約採用の出願を行うことをお勧めします。詳細については、在籍する高等学校に確認してください。予約採用で希望どおりの採用とならなかった場合でも、入学直後に大学で在学採用(上記記載)として再出願が可能です。

*日本学生支援機構給付奨学金が採用となった場合、貸与奨学金第一種の貸与月額が減額調整され、0円となる場合があります。貸与奨学金の月額が必要な場合は、第二種の出願を必ず行ってください(詳細は日本学生支援機構WEBサイトを確認してください)。

*日本学生支援機構貸与奨学金は、比較的採用されやすいため、学生生活で奨学金が必要となる場合は、日本学生支援機構貸与奨学金を基本に学費等の計画を立てられることをお勧めします。

*2025年9月時点での情報を掲載しています。内容は変更になる場合があります。確定した制度内容については募集要項および本学WEBサイトで確認してください。

(4) 在学中に出願する奨学金

～ 在学中に家計が急変したとき ～

本学では、在学中に家計の急変や自然災害等による経済的な理由により、修学が困難となった学生を支援する制度を設けています。詳細は、本学奨学金制度WEBサイトをご覧ください。家計急変においては、その他の奨学金を案内できる場合もありますので、まずは学生オフィス窓口に相談してください。

名称	種別	奨学金の内容	出願資格等
立命館大学 家計急変学費減免	給付型 (学費減免)	国の「高等教育の修学支援新制度」の家計急変による授業料減免制度を包括した制度であり、原則、日本学生支援機構給付奨学金の家計急変に出願を要する。減免額は年間授業料の1/4の額とし、授業料から差し引く方法で給付	生計維持者が死亡・重度後遺障害となった場合や自然災害による家屋の被害および自然災害等の被災により30日以上の長期入院・加療が生じた場合
立命館大学 父母教育後援会 家計急変奨学金	給付型 (学費減免)	給付決定があった日が属する学期から在学期間が4年(薬学部薬学科の場合は6年)に達する学期まで、授業料相当額を奨学金として授業料から差し引く方法で給付	本学の学部生で、学生の学費を負担する者が父母教育後援会の会員である者(留学生は除く)を対象とする。出願から遡って1年以内(入学前は対象外)に会員が死亡、または重度後遺障害により就労不能となった場合
立命館大学 父母教育後援会 災害支援奨学金	給付型 (学費減免)	給付決定があった日が属する学期から2学期分の授業料相当額を奨学金として授業料から差し引く方法で給付	本学の学部生で、学生の学費を負担する者が父母教育後援会の会員である者(留学生は除く)を対象とする。出願から遡って1年以内(入学前は対象外)に会員の居住する家屋が災害により全壊・半壊・半焼・床上浸水以上の被害を受けた場合、または災害により30日以上の治療を要する重傷の人的傷害を受けた場合

～ 学生個人や団体の成長を支援する奨学金・助成金 ～

学修・留学・課外活動など学生が目標にチャレンジし、主体的・能動的に学び成長することをサポートする成長支援型奨学金を紹介します。

名称	支援対象
立命館大学西園寺記念奨学金(成績優秀者枠)	学部での学修を究め、成績優秀な学生
立命館大学+R学部奨学金	所属する学部の教学的取組において優れた成果を挙げた学生
立命館大学学びのコミュニティ学外活動奨励奨学金(正課授業)	授業(ゼミナールなど)を基盤とした国内外での調査活動や学会報告・国内外大学・諸機関との交流などの学習活動に積極的に取り組む学生
立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	海外留学に挑戦する学生
立命館大学海外留学サポート奨学金	経済上の理由で海外留学プログラムへの参加や継続が困難である学生
立命館大学西園寺記念奨学金(難関試験合格者枠)	公認会計士・国家公務員総合職など大学が指定する難関試験を目指し合格した学生
立命館大学Challenge奨学金(個人)	学生個人が正課や課外の通常の活動範囲を超えて抱いた問題意識に対して、その解決を目指し、自主的に取り組む学生
立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体)	正課外活動において社会問題の解決を目指す自主的な集団活動に取り組む学生

※2025年9月時点での情報を掲載しています。内容は変更になる場合があります。確定した制度内容については募集要項および本学WEBサイトで確認してください。

保護者の方が学費などの支払いのために利用できる低金利の教育ローン
申込方法、お支払い条件などは、それぞれの金融機関へ直接お問い合わせください。

**日本政策金融公庫
「国の教育ローン」**

受験前から事前に申し込んでおき、合格と同時に融資を受け、入学手続きに必要な資金を借りることができます。

融資利率:年2.40%
(2025年9月現在)

教育ローン専用ダイヤル
0570-008656

WEBサイト
<https://www.jfc.go.jp>



**三井住友カード
「C-Web学費ローン」**

立命館大学と三井住友カード株式会社(以下三井住友)との提携により、学費などの本学への納付金を三井住友が利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者は三井住友へ分割で返済する制度を導入しています。

融資利率(実質年率):2.50%
(2025年9月現在)

カスタマーセンター
050-3827-0375

WEBサイト
<https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/>



**オリエントコーポレーション
オリコ「学費サポートプラン」**

立命館大学と株式会社オリエントコーポレーション(以下オリコ)との提携により、学費などの本学への納付金をオリコが利用者に代わり本学へ立替払いし、利用者はオリコへ分割で返済する制度を導入しています。

融資利率(実質年率):3.0%
(2025年9月現在)

オリコ学費サポートデスク
0120-517-325

WEBサイト
<https://orico-web.jp/gakuhi>



**滋賀銀行
「ジャストサポート提携ローン(教育資金)」**

立命館大学と株式会社滋賀銀行との提携により、本学への納付金やその他にかかる費用(仕送り資金、住居費用、留学費用など)についても幅広く対応しています。

年利(変動金利):年2.25%または3.05%
(2025年9月現在)

滋賀銀行クレジットセンター
0120-889-201

WEBサイト
<https://mcl.sbk.jp/lp/teikei/>

